

## プリンスのイベント特集

### ★遠足（年中～小学生）

プリンス英米学院幼稚園教室課には 10 人以上の外国人の先生がいます。いつも園で会う先生やそうでない先生ともお話ができる大チャンスです。集合場所まで送り迎えいただければプリンスのスタッフが完全お預かりで現地までお連れいたします。遠足では、先生と一緒に遊んだり、通常のレッスンとは異なる英語のアクティビティも行ないます。たくさんのリピーターの方たちが参加してくれており、毎年大人気です！参加人数に限りがありますので、早めのお申込をお勧めします。

※自由参加になります。参加費が別途かかります。



### ★ハロウィン・クリスマス（全クラス）

毎年行なっている、ハロウィンとクリスマス会は保護者の方も参観できる機会です。通常のレッスン内容ではなく、海外ではどのようにハロウィンやクリスマスを過ごすのか、多文化経験の一環で楽しいスペシャルレッスンを行います。ハロウィンレッスンでは実際にコスチュームを着て、お菓子をもらいに行きます。クリスマス会ではスペシャルゲストに会えるかもしれません。イベントレッスンは通常のレッスン日に設定しております。日にちが近づき次第事前に詳細をご連絡します。



### ★キャンプ Prince Kids Adventure（小学生）

2泊3日で長野県八ヶ岳に行きます。20人以上の外国人の先生に会えるチャンスです。学校や学年を超えてたくさんのお友達ができ、グループでの活動を行います。キャンプファイヤーやクラフト作り、BBQなどいろいろなアクティビティを通じて、英語により親しむと共に、たくさんのお友達と仲良くなり夏休みでの楽しい思い出や経験ができます。3日間みっちり外国人講師と過ごすためプチ留学気分が味わえます。

※自由参加になります。参加費が別途かかります。

## 教えてプリクマくん！



Q：プリンス英米学院のレッスンの特徴は？

A：プリンス英米学院のレッスンでは特に

フォニックス（Phonics）に力を入れているよ！

### フォニックスとは？

アルファベットには1文字につき「名前」と「発音」があります。Aの名前は「エー」、発音は「ア」。「フォニックス」は、つづり字と音素（音声）の関係を規則化して教える教授法のことです。英語の約75%が、フォニックスの文字と音の規則性とパターンに沿っています。

例えば：「いぬ」 dog と書きますね。

1つ1つのアルファベットの「発音」を見ていくと、

dドウ oオ gグ

ドッグと読むことができます！

プリンス英米学院では、アルファベットの「発音（フォニックス）」を正しく学んでいくことによって、単語を暗記するのではなく自分で単語を読んだり書いたりすることを目標にしています。

英単語のルールとパターンをたくさん覚えれば、発音も、スペリングもより簡単になります。英語圏の国々では、幼稚園や小学校低学年の子供たちが、フォニックスで読み書きを習います。

学習が進むにつれて、言葉の終わりの音、真ん中の母音、混合語、長音の母音など、覚える種類も増えて内容も複雑になっていきます。フラッシュカードやテキストで繰り返し練習をしてパターンを覚えていきます。Youtube などにもフォニックスの動画があるので、参考にしてください。

Q：プリンス英米学院では、どんなお勉強をするの？

A：学年にあわせたレッスンを行っています。



#### 年少～オリジナルブック～

★英語に親しむ

初めて英語を学ぶ年少クラスは、外国の人に慣れ英語に親しみを持つことを第一としています。年少クラスのレッスンでは、英語のお歌を歌ったり、アルファベットの形を見たり外国人の先生と楽しくゲーム感覚でお勉強をします。

※園によっては年中さんからのレッスンになります。

#### 年中～オリジナルブック～

★ABCの持つそれぞれの音を学びます

年中クラスでは、アルファベットの大文字のお勉強をしています。アルファベットの「名前」「発音（フォニックス）」を覚えていきます。1つのアルファベットに対して身近な単語2つを使ってフォニックスを勉強します。例：Aはapple, ant Cはcat, cake などお名前や年齢を英語で言えるように簡単な英語の質問に答える練習もしていきます。

#### 年長 ～ABC Book～

★大文字と小文字のお勉強をします

年長クラスでは、アルファベットの大文字に加え、小文字のお勉強をしています。年長クラスからは鉛筆を持って書き順などもしっかり身につけていきます。年度末に行なうスピーチでは自己紹介ができるようになります。

#### 小学1年生 ～Finding out 1～

★簡単な3文字の単語がわかるようになります！例：cat, dog など

小学生では、Finding out シリーズの Finding out 1 でフォニックスの復習からはじめます。テキストの前半で母音（aeiou）を行い、次に子音、その後2つの音を重ねる練習（例 at, it, on）をして、3文字（例 dog, pen, nut）、4文字（例 tent, hand）と勉強していきます。年中・年長さんから勉強してきた1つ1つの音を英単語にして自分で書いたり読んだりすることが小学1年生です。

テキストの後半から、blends（ee, ea, sh, oo などフォニックスの規則と違う音を発するスペル）を習い始めます。

例えば、船は ship（シップ）と書きますが、幼稚園の間に習っていたアルファベットの発音を見ていくと s ス h ハ i イ p プとなりどうしても ship（シップ）とは読めません。blends とは2つの特例のアルファベットが重なりと違う発音になるというものです。この場合は、sh（シュ）という発音に変わり、ship（シップ）と読むことができます。このblends を使った単語が、小学2年生以降たくさんでできます。この時期にしっかりフォニックスを覚えることで、単語が読めるようになります。もちろん例外の単語もありますが、英単語の75%ぐらいは規則的に出来ているので、フォニックスの基礎をしっかりと学習するということは、英語を読み書きするうえで、非常に大切なことと言えます。

★宿題について★

小学生からは宿題があります。レッスンで習ったことを自宅で復習をすることにより定着していきます。アルファベットの練習やレッスンで使っている単語の読み書き、簡単な文章を書いたりする宿題がでます。宿題のやり方は講師が指導いたしますので家でも単語を暗記するではなく、フォニックスを復習しながら取り組んでください。

#### 小学2年生以上 ～Finding out 2 以上～

★文章の読み書きが始まります。

幼児クラスから勉強してきたアルファベットの発音、小1クラスで勉強をする blends を使って英語の文章を少しずつ読んだり書いたりする練習をしていきます。長い単語が読めない時でも、1つ1つ崩してフォニックスを使いゆっくり読めば、ほとんどの単語が読めるようになり、どんどん自信がついてきます。

また、小学2年生以降は少しずつ難しくなる英文法の理解も深めていきます。

★暗唱が始まります。（希望者のみ）

プリンス英米学院では、Level up challenge という短い文の暗唱を行なっています。

基本的な英文から始まります。

S（主語） V（動詞） O（目的語） 例：I like apples.

S（主語） V（動詞） C（補語） 例：I am a boy.

同じ形の文を繰り返し練習することによって、英語の文章の構成を身に着けます。

毎レッスンに1ページ（3文程度）を暗記し、レッスン前に講師にテストをしてもらい全と言うことができれば次のページに進むことができます。

1 レベルアップするごとにオリジナル缶バッジをプレゼントしており、生徒たちのモチベーションになっています。

また、英文の中にはレッスン内でなかなか勉強をしない単語も出てくるので、さらなる単語力が身につけていきます。

※宿題ではなく、希望する生徒のみ行なっています。（無料）